



SSKW

moderato

社会福祉法人藤沢育成会

2002年11月23日 第3種郵便物認可(毎月3回50日発行)
2016年8月23日発行 SSKW 増刊巻3993号

【モデラート:中くらいの速さで(音楽用語)】

Vol.70

【特集】インタビュー

「藤沢でいつまでも私らしく」

～介護保険サービスを利用して～…… P2-P3

「わが街で支えあって暮らす」

～六会いきいきサポートセンター所長に聞く～…… P4

■アートスペースわかくさのご紹介…… P5

■社会福祉法人藤沢育成会後援会「いずみ」入会のご案内…… P5

■チャリティーコンサートのお礼とご報告…… P6

■社会福祉法人藤沢育成会後援会「いずみ」予算決算報告…… P6

■「Samu's Voice」: 理事長コラム…… P7

■「ますます華麗に 節子の部屋」: 西條節子さんコラム…… P7

■「あっと!」表紙解説…… P8

インタビュー：所扶久代(とほろくよ)さん、
青木智彦(あおきともひこ)さん(ふらっと・ケアマネジャー)
聞き手：岩瀬一郎(モデラート編集委員)
※以下 敬称略

岩瀬：所扶久代さんは、藤沢育成会のグループホームの世話人として働いておられました。ご病気で倒れ手足がご不自由になれましたが、入院やリハビリを経て、今は藤沢にもどられて一人暮らしをしています。青木智彦さんは、藤沢育成会ふらっとの介護保険のケアマネジャーです。所さんが藤沢に戻ってこられる時から、所さんの担当ケアマネジャーとして生活を支えてきました。

所：私は、倒れる前は藤沢育成会のグループホームの世話人をやっていた。いろいろなホームで働きましたが、コスモス湘南が一番長かったと思います。若い入居者が多くて、大変なことも色々ありましたが、入居者は良い人が多くてみんな大好きでした。

ある晩、仕事でグループホームに泊まっていて、職場で倒れました。倒れた後のことは意識がなく覚えていませんが、翌日の朝、入居者のEさんが倒れているところを見つけてくれたんです。Eさんは命の恩人です。

入院して主治医からは、「もう再起不能だろう」と言われたのですが、その割には今は元気になることができました。救急病院に1か月、リハビリの病院に7か月入院して、退院後は海老名にある「COCOありま」という所に住みました。そこでは、10人ぐらいで共同生活をしていました。とても自由な雰囲気良かったのですが、一人で暮らしてもなんとかやっていけると思い、今の自宅に引っ越しました。反対する方もいて、「一人暮らしは大変だぞ」と脅かされましたが、青木さんをはじめいろいろな方に支えられて藤沢に戻ることができました。

岩瀬：藤沢のどんなところが良いと思いましたか？

所：昔は東京に住んでいました。藤沢は、気候がよくて、人柄の良い方が多く、皆さんすごく満足して暮らしてらっしゃるような気がします。周辺には、体が不自由な方を迎えに来てくれる美容院があって、私も利用しています。東京にはそういうところはまずないんですよ。いろいろな意味で藤沢が気に入っています。

青木：所さんのお住まいは、車いすでも住みやすい環境になっていると思います。最初は、今よりも手すりの数が多かったのですが、生活する中で「この手すりはいらねえ」



青木智彦さん

特集

今回は介護支援サービスの入り口である「居宅介護支援専門員」(通称・ケアマネジャー)と「地域包括支援センター」(通称・いきいきサポートセンター)を、インタビューを通してご紹介致します。
藤沢育成会では「ふらっと」(TEL▼0466-800-5250)と「六会いきいきサポートセンター」(TEL▼0466-800-5877)を運営しています。

「藤沢でいつまでも私らしく」

介護保険サービスを利用して

と本数も減らしていきました。ゴミ捨てはふれあい収集に回収にきてもらっていますし、買い物は宅配サービスを利用されています。図書館の宅配サービスもご利用されていますね。

所：本を読むことが好きなんです。最初は自分で図書館に行けなかったで、図書館の配達サービスを、青木さんに紹介してもらえてとても良かった。今も月に一回届けてもらっています。一度に4冊くらい貸してくれるんですよ。電話でこんな本が読みたいと話すと、選んで配達してくれるんです。最近はガイドヘルパーと一緒に図書館に行って自分で読みたい本を選ぶようになりました。

青木：ガイドヘルパーの利用は大きな変化でしたね。藤沢での生活が落ち着くと、「外に出かけたい」というご希望がありました。最近は電車に乗って遠くまで出かけられているようですね。

所：横浜の高島屋や町田のデパートにも出かけました。ガイドヘルパーさんについてきていただくと結構気が楽です。

家にいるときは、お洗濯とか家事に結構時間がかかるんです。毎日、夜の時間に洗濯機を回して、片手で洗濯物を広げて、次の朝に干せるようにしているんです。結構時間がかかるんですけども、お洗濯は好きなんです。

掃除は、手が届くところは何か自分でやっています。車いすに座って掃除機をかけます。車いすだと片足でも結構動けるんですよ。

お料理は、ヘルパーさんに週に3回お願いをしています。ヘルパーさんの料理はおいしいですよ。今のヘルパーさんは、良い方がそろっていて気に入っています。

青木：所さんのお気持ちを無視して、「こうした方がいい」と押し付けてくるヘルパーには交代してもらったこともありましたね。

所：最初の頃はそういうこともありました。自分のやりたいようにやって、私の意向をあんまり気にしない方は変えてもらいました。

岩瀬：「私たちのことを、私たち抜きに決め

ないで」という言葉がありますが、その通りですね。

所：逆の立場で言うと、私がグループホームで働いていた時に、入居者の気持ちがわかってあげられないことがありました。あの時は、どうしてあげればよかったのだろうか、いまだに考え続けているんです。難しいことですよ。

岩瀬：相手の気持ちを決めつけてしまわずに、次はもっと理解したいと、所さんのようにあきらめずに向き合っていきたいですね。最後に読者のみなさんに一言お願いします。

所：私は倒れたけれど、それでも今は元気なんですよ。ほんとに。手と足が不自由になったんですけど、でもあんまりそれを感じないかもしれません。何とか立ち上がれば動けますし。だから、身体障がい者なんだけれどあんまり自覚がないかも(笑)。

青木：それはほくも感じます。生活全般は所さんがご自分で考えて、ご自分のスタイルでやっていて、それを我々がサポートしている。この関係がとてもいいなと思っています。

岩瀬：みんなで支えあって同じ藤沢で生活しているのですから、障がい者かどうかなど、意識しなくてすむ生活が理想ですよ。 「自分は障がい者だ」と意識させてしまうような支援はしてはならないなと、あらためて思いました。今日は貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。



所扶久代さん

インタビュー：一戸香織（いちのへかおり）さん
（六会いきいきサポートセンター所長・主任介護支援専門員）

聞き手：岩瀬一郎（モデラート編集委員）

※以下 敬称略

岩瀬：一戸さんは六会いきいきサポートセンターの所長をされていますが、実際に六会地区にお住まいと伺っています。

一戸：六会に住んで20年です、六会地区で子育ても仕事もしてきましたし、自治会の役員も経験しました。六会いきいきサポートセンターの対象は高齢者です。まだまだ先のことだけれど自分も年を取っていくので、六会地区のことをきちんとみんなと考えていかないと、将来の生活が大変になるぞと、他人ごとではなく思っています。

岩瀬：いきいきサポートセンターについて教えてください。

一戸：いきいきサポートセンターでは、主に高齢者の方々の相談を受けています。地域の暮らしを気軽に相談できる場所です。窓口に来ていただくだけではなく、ご自宅に訪問もしています。藤沢市内には16か所のいきいきサポートセンターがあり、身近な地域で気軽に相談ができます。各いきいきサポートセンターは、藤沢市の委託を受けて事業を行っています。

岩瀬：どのような相談がありますか？

一戸：「介護のことを知りたい」「足腰が痛くなってきて外に出にくく、

なってきた」「近所のおじいちゃんがなんだか痩せてきて心配だ」「物忘れが進んだようでおばあちゃんの様子がおかしくて気になる」「近所のお年寄りの家で家族の怒鳴り声や大きな物音がして心配だ」「新聞がポストにたまっていて大丈夫なのかな」など様々な相談があります。そんな時は、お気軽に最寄りの地域のいきいきサポートセンターに相談をしていただけたらと思います。

岩瀬：いきいきサポートセンターだけで解決できないことも多いですよね？

一戸：地域のいろいろな人たちの力が必要です。民生委員さん、地域の自治会・町内会、ゆめクラブ(老人会)、社会福祉協議会、ボランティアセンター、市民センター、新聞屋さんなど、地域のいろいろな団体と協力し合っています。まず顔が見えないと何も始まりません。この人たちはどんな人なのか、お互いにわかりあえていないと話が進みません。地域で顔が見える関係をつくることも、いきいきサポートセンターの重要な役割です。六会いきいきサポートセンターでは、5名のスタッフで自治会や老人会に向いて出張講座を行うなど、地域づくりに取り組んでいます。

岩瀬：普段から顔の見える関係が、地域の困りごとを自分のこととして考え、支えあっている地域づくりにつながるのですね。実際にお住まいの地域でご活躍されている一戸さんのお話は、とても参考になりました。

「わが街で支えあって暮らす」 ……六会いきいきサポートセンター所長に聞く

一戸香織さん



こんにちは！アートスペースわかくさです！






よし介工芸館に、新たな活動場所をOpenいたしました。場所は用田交差点近く、大きなスーパーの隣です。活動内容は、機織り、ビーズ制作を主とし、“ものづくり”を中心に行っています。ショップもOpen致しますので、実際にお手に取ってご覧いただけます。“ものづくり”にご興味ある方々はぜひ、お立ち寄りください。



よし介工芸館のアーティストたちが個性いっぱい表現する
彩りあふれるエイブルアート・クラフト作品や
よしすけグッズを展示・販売するアートギャラリー&ショップです

※よし介工芸館は障がい者のアート・創作活動を支援する福祉施設です。

アートスペースわかくさ

よしすけ アートギャラリー&ショップ

〒252-0821 神奈川県藤沢市用田 602-3



お問い合わせ

社会福祉法人
藤沢育成会 **よし介工芸館**

TEL 0466-88-6722

社会福祉法人藤沢育成会後援会いずみ 入会のご案内

後援会「いずみ」は、藤沢育成会が進める福祉事業を支援するとともに、藤沢育成会を利用する人と地域の人を結ぶ懸け橋になり、障がいのある人の地域の暮らしや社会参加の実現に向けて、誰もが自分らしく生き生きと暮らすことのできる豊かなまちづくりを目指しています。

多くの皆様にご入会いただき、支援の輪を広げていきたいと考えております。皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

- 個人会員 年額2,000円から
藤沢育成会の活動に賛同する一般の市民の方 及び 利用者家族
- 団体会員 年額10,000円から
藤沢育成会の活動に賛同する企業・団体

振込先（郵便局）
口座番号 00240-5-65378
口座名義 社会福祉法人藤沢育成会後援会いずみ会長西條節子
問合せ先 0466-25-5551（社会福祉法人藤沢育成会湘南あおぞら 担当：石川）

チャリティーコンサートのお礼とご報告

2016年7月16日(土)藤沢市民会館大ホールにて、今年度の藤沢育成会チャリティーコンサートが開催されました。

大庭山賊男星合唱隊は平成4年の創設以来、地元大庭を中心に「笑って、泣けて、感動が伝わるコンサート」を目指してきました。

舞台と会場が一体となった素敵なコンサートでした。皆様方のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。なお、収益金は利用者の施設整備等に使用させていただきます。

チャリティーコンサート実行委員会一同

収 入		
科 目	金 額	摘 要
チケット売上金	794,100	
チケット売上協力金	410,000	
寄付・募金等	15,750	
合 計	1,219,850	

支 出		
科 目	金 額	摘 要
会場使用料	199,300	付帯設備等
印刷費	135,216	チラシ・ポスター等
花束代	10,800	
出演料	264,800	
ピアノ調律代	24,840	
出演者弁当代	15,033	
雑費	2,581	
合 計	652,570	

収 益 567,280円

社会福祉法人藤沢育成会 後援会「いずみ」予算決算報告

■平成27年度収支決算書

自 平成27年4月1日
至 平成28年3月31日 (単位・円)

科 目	27年度予算	27年度決算	摘 要
前年度繰越金	434,711	434,711	
会 費			
個人会費	500,000	494,000	
団体会費	100,000	80,000	法人(企業・グループ)
家族会費	7,000,000	7,075,905	
事業収入	0	0	チャリティーイベント開催なし
寄 付 金	50,000	50,000	
雑 収 入	1,000	6,543	
合 計	8,085,711	8,141,159	

法人寄付	7,000,000	6,514,000	別紙参照
事務費	50,000	50,000	コピー機使用代他
通信費	60,000	32,138	
印刷費	500,000	506,216	モデラート発行
会議費	60,000	30,834	
広報活動費	250,000	0	
消耗品費	20,000	23,615	
雑 費	30,000	7,024	振込手数料他
積立金繰入	0	0	
予 備 費	115,711	0	
合 計	8,085,711	7,163,827	

(収入) 8,141,159 - (支出) 7,163,827 = (次年度繰越金) 977,332

■特別会計 地域生活推進積立金

	収 入	支 出	残 高
平成26年度	10,778,044		
平成27年度繰入	0		
平成27年度利息	1,751		
合 計	10,779,795	一般会計へ	0 10,779,795

■平成28年度 予算(案)

自 平成28年4月1日
至 平成29年3月31日 (単位・円)

科 目	27年度決算	28年度予算	摘 要
前年度繰越金	434,711	977,332	
会 費			
個人会費	494,000	3,400,000	
団体会費	80,000	100,000	法人(企業・グループ)
家族会費	7,075,905		規約改正
事業収入	0	500,000	チャリティーイベント等
寄 付 金	50,000	50,000	
雑 収 入	6,543	1,000	
合 計	8,141,159	5,028,332	

法人寄付	6,514,000	3,300,000	別紙参照
事務消耗品費	50,000	50,000	
通信費	32,138	80,000	
印刷費	506,216	30,000	コピー機使用代他
会議費	30,834	50,000	
広報活動費	0	510,000	モデラート発行
消耗品費	23,615	0	事務消耗品費へ
雑 費	7,024	20,000	振込手数料他
積立金繰入	0	0	
予 備 費	0	488,332	
次年度繰越金	977,332	0	
合 計	7,163,827	5,028,332	

規約改正により平成28年度から家族会員が廃止となり、利用者家族は個人会員になる。
平成27年度決算での印刷費のうち、モデラート発行に係る費用は平成28年度予算より広報活動費として計上する。

■寄付金・使途明細

2015(平成27)年度		2016(平成28)年度	
予 定	実 施	予 定	
500,000	職員福利厚生	500,000	職員福利厚生
6,500,000	湘南だいち建設自己資金補填	6,014,000	湘南だいち建設自己資金補填
7,000,000		3,300,000	施設整備積立金
	6,514,000	3,300,000	

Samu's Voice ⑧

社会福祉法人藤沢育成会 理事長 石川 修



一人一人を大切にす文化

暑い夏の戦いが終焉を迎えてしばらく経つ。日本選手の戦いに一喜一憂し寝不足の夏となった。メダル獲得が声高に叫ばれ、選手もメダリストと4位入賞者の差を言葉にする。吉田選手のような“涙の銀メダル”もあれば、400mリレー日本チームのように“笑顔の銀メダル”もある。そこにほとんど“差”はない。決定的な実力の差、努力の違いは明らかだが、アスリートの戦いには運不運もつきまとう。3種目三連覇を遂げたボルト選手もかつてフライング失格で優勝を逃した。卓球女子団体の準決勝の最終球はエッジボールだった。それまでのプロセスを無視するわけではないが、エッジボールで終わる不運を感じたのは私だけだろうか…。

卓球女子3選手は、3人とも幼児期から卓球漬けの生活をした。両親の教えを受け卓球教室に通った。水谷選手はドイツに留学し、福原選手も中国リーグに参戦した経歴がある。体操ニッポンの内村、白井選手は両親の営む体操教室が遊び場だった。加藤選手は所属チームの監督が父親。巷では水泳教室、柔道場、卓球教室、新体操クラブ、サッカークラブなどスポーツを習う文化が定着した。百年構想のJリーグは、欧州文化であるスポーツクラブがモデル。著

名なサッカーチームもスポーツクラブだ。日本のJリーグでもバスケや野球、女子サッカーなども活動している。かつての部活(中学→高校→大学)と企業クラブという育成=教育の一環、企業の広告塔としてのスポーツから、自らの“極みに立ちたい!”というアスリートと、スポーツを楽しむクラブ活動が混在し始めた様子は、競い合う“競技”と楽しむ“娯楽”という、スポーツの多様性を思い出させる。しかし“習い事”=“お勉強”の印象もぬぐえない。

日本人は勤勉で学習好き。1990年2月に雑誌『ケイコとマナブ』が創刊された。“お稽古事”“学び事”を意味する書名は、同年のネーミング大賞を受賞し、今日の“習い事ブーム”の火付け役にもなった。また卒業後も試験を受け続け“勉強”する資格コレクターもいる。極限まで自らを鍛え上げるスポーツもあるが、暮し向きの糧や癒しを得るスポーツもある。だからこそスポーツクラブに価値がある。それぞれの選択が尊重されるスポーツは“ひとり一人を大切にす”文化を育まなければ本物になれない。次のオリンピックまでどれだけ文化の定着が図れるか楽しみな日本選手の活躍だった。



ますます華麗に
節子の部屋
藤沢育成会後援会『いずみ』会長
西条 節子

な子どもへと導いてきましたね。努力してくれましたね。今、2015年は何と1500種類の食品添加物が使われているのです。世界一の認可数です。しかもそのうち石油から合成されたものも3分の1と報道されています。

食品添加物は怖い!!

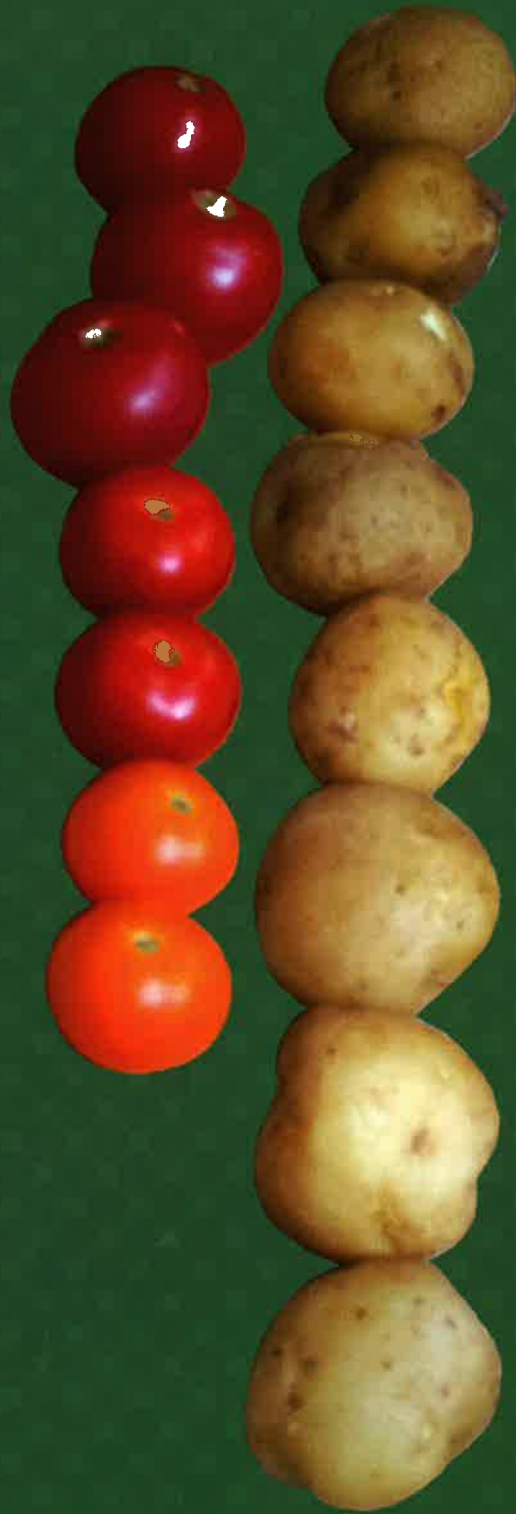
食品の流通で長持ちさせたり、きれいに見せたりしてゆくために加工食品に多く使われます。日本の食品添加物の使用許可は、40年前は470種類、そのとき驚いた藤沢市の学校給食は、食品の選択に苦労しつつ、健康

さて、世界の国々を調べると、アメリカの認可数133種類、ドイツ64種類、フランス32種類…日本は国民の健康を守っていかうとするか疑問だらけです。

私たちは、食品と野菜を選択する権利を持っています。藤沢のお店では、地場産物を扱うコーナーも増えてきました。守りあう、そんな街に誇りを持っているのです。しっかりしようね。

『あっと!』 日常の中で 見つけたアート

並んでいるトマトやジャガイモ、大きさや形がそろい整然としていて、思わずその美しさに魅入ってしまいました。これは、成田 有佑（なりた ゆうすけ）さんが並べたものです。有佑さんは、物を床に並べることが大好き。



長い間、家の外に出ることができない時期がありました。ヘルパーさんに家に来てもらい、一緒に時間を過ごすことから始め、次第にヘルパーさんと自宅のそばの自動販売機まで散歩に出かけられるようになりました。今は、自動車に乗って近くのショッピングモールまで出かけられるようになり、ショートステイで一泊することを目標に、湘南セシリアの見学をはじめました。

有佑さんのお気に入り、湘南セシリアの作業室「びくしす」の裏にある、クーラーの室外機です。くるくる回るものが大好きな有佑さん。いつの日か、家の外の世界で仲間を作り、笑顔で過ごせるよう、その時を楽しみにしながら、これからも応援し続けたいと思っています。

（ふらっと 岩瀬一郎）

